

# 歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

特別展

## 三瀬諸淵

シーボルト最後の門人

平成25年10月9日(水)～12月1日(日)

開館時間 午前9時～午後5時30分(入館は午後5時まで)

休館日 毎週月曜日

ただし、10月14日(月)・11月4日(月)開館、10月15日(火)、11月5日(火)休館

会場 企画展示室

観覧料 大人(高校生以上) 500円(400円)

小中学生・65歳以上 250円(200円)

※( )内は20名以上の団体料金。

※他にお得な常設・特別展共通券もあります。

後援 愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・FM愛媛



三瀬諸淵と高子  
大洲市立博物館蔵



三瀬諸淵(直垂姿)  
大洲市立博物館蔵



シーボルト肖像  
長崎歴史文化博物館蔵



シーボルト妻子像螺鈿合子  
(国指定重要文化財)  
シーボルト記念館蔵

展示期間:11月6日～12月1日 [複製]10月9日～11月4日

外科医療器具  
長崎歴史文化博物館蔵



大洲に生まれ、叔父の二宮敬作に蘭学を学び、シーボルトの最後の門人となった三瀬諸淵。長崎で西洋に目を開いた諸淵は、日本に伝来したばかりの写真術にも興味をもち、自らの写真、妻高子の写真、そして二人で写った写真を多く撮影させています。中でも二人の写真は、日本で写された最も古い夫婦写真といえます。シーボルト、その長男アレクサンダー、義母の楠本いね、そしてさらには交友のあった人物の肖像写真。諸淵旧蔵の写真を中心に、幕末維新という激動の時代を駆け抜けたその生涯が甦ります。

### 平成25年度 歴史文化講座 下期

#### 歴史・文書講座 13:30～15:00

応募締切日は開講日の1週間前

講座番号⑥特別展開連講座「妻高子が語る三瀬諸淵の生涯」

日時:11月3日(日)

講師:井上 淳(当館学芸員)

講座番号⑦源氏物語連続講座④「蓬生の宿の末摘-末摘花巻」

日時:11月16日(土)

講師:伊井 春樹(当館名誉館長)

講座番号⑧「そして城は残った-明治期の城郭保存-」

日時:12月22日(日)

講師:平井 誠(当館学芸員)

講座番号⑨「幕末大洲・新谷藩の村の記録を読む①」

日時:2月16日(日)

講師:安永 純子(当館学芸員)

講座番号⑩「幕末大洲・新谷藩の村の記録を読む②」

日時:3月23日(日)

講師:安永 純子(当館学芸員)

#### 民俗講座 13:30～15:00

応募締切日は開講日の1週間前

講座番号③企画展開連講座「道標から見た四国遍路」

日時:2月23日(日)

講師:今村 賢司(当館学芸員)

講座番号④企画展開連講座「明治維新と八十八ヶ所札所」

日時:3月8日(土)

講師:内田 九州男氏(愛媛大学名誉教授)

講座番号⑤企画展開連講座「邊路から遍礼・遍路へ」

日時:3月16日(日)

講師:小松 勝記氏(高知県立歴史民俗資料館調査員)

#### 考古講座 13:30～15:00

応募締切日は開講日の1週間前

講座番号③「発掘された伊予の井戸-水をめぐるくらし-」

日時:1月26日(日)

講師:亀井 英希(当館学芸員)

講座番号④「発掘今昔-遺跡を調査するというこ-」

日時:3月15日(土)

講師:岡田 敏彦氏(公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター調査課長)

#### 体験講座

応募締切日は開講日の2週間前

講座番号⑦特別展開連講座「三瀬諸淵の故郷、大洲を訪ねる」

日時:10月13日(日) 10:00～16:00

講師:白石 尚寛氏

(大洲市教育委員会生涯学習課)

参加費:2,000円

対象:小学生～一般 ※小学生は必ず保護者同伴

講座番号⑧「五十崎の凧づくり体験」

日時:11月2日(土) 10:00～17:00

参加費:3,150円

対象:小学生～一般 ※小学生は必ず保護者同伴

講座番号⑨「アート書道で年賀状づくり」

日時:11月30日(土) 13:30～15:30

講師:堀内 智仔(創造工房 智遊庵 書家)

参加費:500円

対象:小学生～一般 ※小学生は必ず保護者同伴

講座番号⑩「藍染体験」

日時:12月21日(土) 9:30～16:00

参加費:3,200円

対象:小学生～一般 ※小学生は必ず保護者同伴

講座番号⑪「コップをつくろう～サンドブラスト体験～」

日時:2月8日(土) 13:30～15:30

講師:川崎 亮氏(虹の森公園 森の国ガラス工房かざね)

参加費:1,500円

対象:小学生～一般 ※小学生は必ず保護者同伴

#### 【申込方法】

希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、各講座の応募締切日までにハガキなどでお申し込みください。定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。参加費は、昼食代・講師謝金・施設観覧料等の実費です。

お問い合わせ:企画普及グループ・歴史文化講座係  
TEL(0894)62-6222 / FAX(0894)62-6161

### 開館記念日無料開放日のご案内

当館では11月で開館19年目を迎えます。11月10日(日)は開館を記念し、常設展・特別展が無料でご利用いただけます。ぜひ、博物館にお越しください。

#### ご利用案内

■開館時間 9:00～17:30(入館は17:00まで)

■休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)

■観覧料

	区分	一般	
		一般	団体(2割引)
常設展 テーマ展	大人(高校生以上)	500円	400円
	中学生以下	無料	無料
	65歳以上	250円	200円

※企画展・特別展の観覧料はその都度定めます。

※団体は20名以上です。

※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

#### Museum Calendar 2013.9-11

9月							10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
8	9	10	11	12	13	14	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
15	16	17	18	19	20	21	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
22	23	24	25	26	27	28	27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30		
29	30																			

#### 展示スケジュール 2013.9-2014.3

9	常設展 歴史と文化	
10	常設展 空と海	
11	常設展 空と海	特別展「三瀬諸淵-シーボルト最後の門人-」 平成25年10月9日(水)～12月1日(日) ▶「開館記念イベント」平成25年11月10日(日)
12	常設展 空と海	
2014	常設展 空と海	
1	常設展 空と海	▶「新春イベント」平成26年1月2日(木)～1月5日(日)
2	常設展 空と海	企画展「四国遍路ぐるり今昔」 平成26年2月18日(火)～4月6日(日)
3	常設展 空と海	

※都合により、行事や展示、日程などについては、変更・中止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。



愛媛県歴史文化博物館  
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営:指定管理者 イヨテツ ケーターサービス株式会社  
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 電話:0894-62-6222  
【ホームページ】 http://www.i-rekihaku.jp

●発行日 平成25年9月1日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館

特別展

# 三瀬諸淵 — シーボルト最後の門人 —

平成25年10月9日(水)～12月1日(日)

【休館日】  
10/15・21・28・11/5・11・18・25

★各イベントの事前申込は受け付けておりません。  
★友の会会員は各有料イベントを1回無料で体験いただけます。

関連イベントのご案内

## れきはく★秋のクイズラリー

日時／特別展会期中 9:00～17:30 (受付は17:00まで)  
場所／常設・企画展示室 参加費／特別・常設展共通券(当日券)が必要です。

## キュートな小物づくり～レジンで遊ぼう～

日時／特別展会期中の  
土・日・祝日  
9:00～12:00/  
13:00～16:00  
場所／こども歴史館  
材料費／①ヘアゴム500円  
②箸置き600円



## 切って・貼ってキャンドルづくり

日時／特別展会期中の  
土・日・祝日  
13:00～16:00  
場所／こども歴史館  
材料費／250円



## 偏光ステンドグラス万華鏡をつくろう

日時／特別展会期中の  
土・日・祝日  
9:00～12:00  
場所／こども歴史館  
材料費／150円



## カラフル金平糖を使ってべっこう飴をつくろう

日時／特別展会期中の  
土・日・祝日  
13:00～15:00  
場所／エントランスホール  
材料費／300円



## れきはくのおしあと

平成25年7月13日(土)～9月1日(日)の土・日・祝日には、「えらんでつくりよう!オリジナルリング」や「花咲く♡乙女プレスレットをつくろう」、そして8月13日～16日の夏休みイベント日には「れきはくこども夏まつり」を開催しました。どの事業も好評で、たくさんの方に楽しんでいただけたようです。その他にも「懐かしのヒーロー映画上映会」や「れきはくお化け屋敷 part4 -武家屋敷の怪-」など各種イベントを開催し、連日多くのお客様で賑わいました。特に4回目となるお化け屋敷は今年も大盛況で長蛇の列ができるほどでした。たくさんの方のご来館、誠にありがとうございました。



## 友の会よりお知らせ

10月1日より友の会会費が半額になります。友の会は、愛媛の歴史や民俗について学び親しむ人たちの集まりです。10月1日より入会いただく場合は、会費が半額になります。常設展が無料になる他、この秋の特別展も無料でご覧いただけます。ぜひ、この機会にご入会ください。

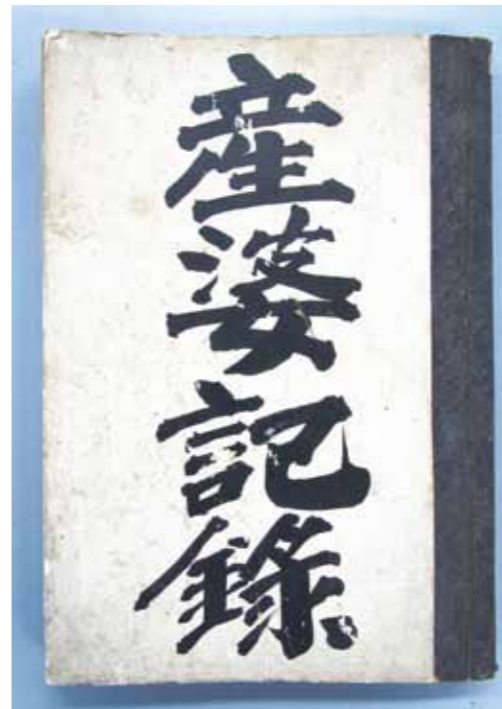
【お問い合わせ先】友の会事務局 0894-62-6222 星加

民俗

## 産婆記録

家で子どもを産むのが当たり前だった時代、出産の助けをしたのが「産婆」さんです。

本資料は、大正一〇年、二六歳で産婆を開業した女性が残した「産婆記録」です。妊産婦に関する情報が一頁に一人分、縦書きで記されています。項目はあらかじめ印刷されており、妊産婦の年齢・住所氏名年齢・取扱受嘱年月日・最終月経閉止月日・初産経産婦妊娠中ノ経過及既往症・生産早産流産死産及男女ノ別・応急手当ヲ為シタル状況ノ正常分娩異常分娩ノ分娩年月日、以上の九項目について記入されています。



年代 大正12～13年  
使用地 今治市  
サイズ 縦23.0cm 横16.3cm  
所蔵 当館蔵

(主任学芸員 松井 寿)

大正一二年五月二八日から大正一三年一月二七日までの約一年半の間に取扱件数が一八八件、大正一二年六月三〇日から大正一三年一月二五日までの間に分娩件数は一八一件、このうち取扱受嘱日と分娩日が同一もしくは翌日、つまり出産開始後に初めて依頼を受けたケースが一五件あります。取扱受嘱日より二か月以内に出産となったケースは七六件と全体の四二・〇%を占めています。当時の今治市では妊娠中の検診はあまり普及していないことがわかります。

本資料は、当時の出産状況や産婆の活動状況についてデータから把握できる貴重な資料と言えます。

考古

## まげものいどわく 曲物井戸枠

曲物は、杉や檜の薄板を曲げて輪を作り、底板をあて容器としたものが一般的ですが、昭和60年から62年にかけて発掘調査が行われた松環古照遺跡からは、底板のない曲物を7段8個積み重ねた高さ67cmの井戸枠が見つかっています。写真はそのうちの一部分です。

井戸の構造は大きく三つの部分に分けられます。水を汲む人の転落を防止し、汚水の流入を防ぐため地上に設ける部分(井桁)、井壁の崩壊を防ぐため地下壁面に設ける部分(井戸枠)、湧き水を溜めるため底に設ける部分(集水施設)です。このうち、発掘調査で発見される井戸のほとんどは、地下につくられた井戸枠と集水施設になります。

井戸は、井戸枠の素材の相違によって、地面を掘っただけの素掘り井戸、石を積み上げて作った石組井戸、丸太割り抜き井戸や板材をそれぞれ縦方向、横方向に組み合わせた縦板組、横板組の井戸等に分けられます。



出土地 松山市南江戸松環古照遺跡  
年代 12世紀後半～13世紀後半  
サイズ 長径44cm、短径41cm、最大高27cm  
所蔵 愛媛県教育委員会(当館保管)

愛媛県内では、井戸枠に曲物を用いた事例は今のところ8例で、時期はおおよそ12～14世紀に限られています。同時期に主流となっていた石組井戸は15世紀以降も継続して使われています。おそらく曲物は薄くて強度的に問題があるため、次第に作られることがなくなっていったのでしょう。

(専門学芸員 亀井 英希)

※曲物井戸枠は、テーマ展「発掘された伊予の井戸ー水をめぐらしてー」(会期:平成25年10月12日(土)から)で展示予定です。